

2023年度事業報告及び決算報告

1. 2023年度の実業概況について

2023年度は新型コロナ5類への移行にともなうにじの会の各種活動を平時にもどすとともに、以下のような法人及び施設運営の取組みを行いました。

- ① 事業運営面では通常の施設運営を復活させました。利用者旅行、ウォーキング・スポーツの2大会、クリスマス会等の施設内行事や社会参加を実施しました。また地域交流行事として、にじの会まつりとにじアートまつり、4年ぶりの公開講座を開催し多くの地域の方々の参加を頂きました。
- ② SDGsの取組では、にじアート空調設備の省エネ化を行い、非常時対策で安否確認システムの導入と非常用備蓄整備を進めています。
- ③ 地域共生社会への貢献では、高齢者買い物送迎支援事業「かわせみ」が累計実施回数770回を超え、延べ参加人数が約3000名となりました。また、三鷹市内の子ども食堂への食事提供は提供先を3カ所に増やして継続しています。
- ④ 2023年度東京都福祉サービス第三者評価を大沢にじの里・にじアート・未来工房にじ・ワークショップハーモニーの4事業所について実施しました。結果は東京都福祉ナビゲーションで報告書として開示されています。
- ⑤ 感染症対策については、定期的PCR検査等は2024年3月で終了しましたが、施設内でのマスク着用や手洗い消毒、日常の体調管理等の基本的対策は継続しています。

2. 2023年度の決算について

にじの会の2023年度決算の概況は以下の通りです。

- ① 最終の当期活動増減差額は2168万円（前年度は163万円の赤字）の黒字。通常の運営状況を示す経常増減差額は2266万円（前年度は124万円の赤字）の黒字でした。就労支援事業収益は847万円増加して7085万円、障害福祉サービス事業収益も947万円増加して10億2890万円と収益は合計で1636万円増えて11億425万円でした。費用は合計で860万円減って10億8425万円でした。また、ハーモニーの就労支援損益が初めて黒字化しました。（225万円。前年度は221万円の赤字）
- ② 資金収支は、当期資金収支差額合計が2927万円の黒字となりました。通常運営の収支を示す事業活動資金収支の黒字5901万円に施設整備等補助金収入1198万円を加えた7100万円を原資に、設備資金の返済1029万円と設備投資3076万円等合計4173万円を支出しています。この結果2927万円の黒字となっています。
- ③ 2023年度末の財政状態は、総資産22億5315万円・負債2億22万円・純資産20億5292万円で、前年度より純資産が1628万円増加しています。